

貸付けを申し込む場合は下記事項に留意して記入してください。各用紙は公立学校共済組合宮城支部ホームページからダウンロードできます。（団信制度適用申込書を除く。）

I 貸付申込書（両面印刷）

1 貸付区分

新規・借換のどちらかを○で囲むこと。

2 申込金額

貸付限度額以内で必要額を超えないこと。100万円以上の場合はボーナス併用償還可能。毎月分は10万円単位（10万円未満切捨て）、ボーナス分は合計額の1/2以内で50万円単位、借換えの場合は未償還元金が控除されることに留意すること。（1回あたりの償還額を記入しないこと。）

3 希望する償還回数

毎月償還は360回以内で、ボーナス償還は毎月償還回数の1/6以内であること。

4 給料月額

直近の給料月額を記入すること。（給料の調整額、教職調整額を含む。）

上記給料月額額の3/10の金額及び6/10の金額も記入すること。既貸付けと今回申込み貸付けの償還額合計が、毎月分は3/10を、ボーナス分は6/10を超えないように留意すること。

5 給与支給機関

給与から償還金の控除を行う地方公共団体（宮城県、仙台市等）を記入すること。

6 団体信用生命保険

どちらかを○で囲むこと。適用の場合は団信制度適用申込書も同時に提出する。団信制度適用申込書は公立学校共済組合宮城支部経営管理班から受領すること。（古い様式は使用できないのでR1.6改訂の様式を使用すること。）

7 購入又は工事完了予定年月日

購入の場合は物件引渡し日、建築の場合は工事完了予定日を記入すること。

8 貸付限度額の算定

組合員期間による額は給料月額に期間に応じた月数（貸付申込必要書類等チェック表を参照。）を掛けること。

申込時の退職手当額は自己都合の場合の退職手当の率（福利課ホームページを参照。）を掛けること。高い方の金額が限度額となる。（最高限度額あり）

9 現在借受中の貸付金の償還額

申込時に公立学校共済組合から借り受けている貸付金の償還額を記入すること。

10 銀行名

送金を受ける金融機関で、申込人名義であること。

11 申込月日

必要書類を添付して所属長に提出する月日を記入すること。

12 申込人

各事項をもれなく記入すること。

（裏面）13 申込事由

該当するものを○で囲むこと。

14 現在の住宅状況

現在の住宅状況を借家又は自宅欄に記入すること。資金が必要な理由を具体的に記入すること。

15 候補物件の状況

所在地は登記簿上の所在地を記入すること。（住居表示が異なるときはかっこ書きで付記する。）

敷地の面積は登記簿上の地籍を記入すること。

16 資金計画

申込金額は契約額から各種借入金と自己資金を引いた金額になる。（10万円未満切捨て、端数は自己資金で調整する。）借換えの場合の申込金額は、上記の算出額に未償還元金を加算した金額になる。借換えの場合は貸付日における未償還元金も記入すること。

- 17 新物件に居住する家族構成
同居者を記入すること。
 - 18 住宅及び敷地所在地の見取図
駅や停留所、目標となる建物等を書き入れること。
- ※ 申込人が自書すること。（申込人欄の所属所名、所属所在地・電話番号、証明欄の所属所名及び所属所長名はゴム印でも可。）
- ※ 訂正する場合は二重線で消し、申込人欄に使用した印鑑を訂正印として使用すること。

II 貸付借用証書

- 1 所属所コード・組合員証番号
忘れずに記入すること。
 - 2 貸付種別
該当するものを○で囲むこと。
 - 3 貸付金額
金額の前に¥を入れること。金額の訂正はできないので、訂正したいときは別用紙に書き直すこと。
 - 4 ※令和 年 月 日
記入しないこと。
 - 5 借受人
各事項をもれなく記入すること。
- ※ すべて申込人が自書すること。貸付申込書に使用した印鑑を押印すること。

III 借入状況等申告書（両面印刷）

- 1 年月日
提出する月日を記入すること。
 - 2 申込人
申込人が自書すること。貸付申込書に使用した印鑑を押印すること。
 - 3 当共済組合の借入状況
今回申込み貸付けの償還額を、公立学校共済組合宮城支部ホームページ上の関連リンク「貸付シミュレーション」で計算し、記入すること。区分欄は新規又は借換えを○で囲むこと。現在償還中の償還額も各貸付種別ごとに記入すること。
- (裏面) 4 当共済組合以外の借入状況
他の金融機関等からの借入状況を記入すること。（注）1～3に留意。
- 5 申込人の給料月額
貸付申込書に記載した給料月額を記入すること。
 - 6 償還限度額の算出
算式どおりに計算し、合計が給料の4.8倍(小数点以下切捨て)以内であることを確認すること。
- ※ 訂正する場合は二重線で消し、申込人欄に使用した印鑑を訂正印として使用すること。

IV 貸付事業における個人情報に関する同意書（両面印刷）

- 1 貸付種別・申込金額・申込年月日
貸付申込書と同様に記入すること。
 - 2 提出年月日
忘れずに記入すること。
 - 3 借受人
各事項をもれなく記入すること。
- ※ すべて申込人が自書すること。貸付申込書に使用した印鑑を押印すること。
- ※ 訂正する場合は二重線で消し、借受人欄に使用した印鑑を訂正印として使用すること。